

令和6年3月8日

保護者の皆様へ

廿日市市立四季が丘小学校
校長 伊豆田 智子

令和5年度学力定着状況調査の結果について

早春の候 保護者の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、日頃の単元末テストでは計れない児童の学力の定着状況を分析し、個に応じた支援及びさらなる定着を図るという目的で、1月に実施しました「令和5年度学力定着状況調査」の結果についてお知らせいたします。

国語科		1年	2年	3年	4年	5年	6年
正答率 (%)	四季小	74.6	85.8	64.0	69.9	70.8	64.0
	全国	74.8	79.3	68.4	64.2	69.9	66.6

算数科		1年	2年	3年	4年	5年	6年
正答率 (%)	四季小	83.2	80.5	75.3	65.3	57.4	73.3
	全国	78.2	73.1	69.9	64.8	58.3	73.8

【国語科】

国語科では、語句の理解や文章や資料の内容を正確に読み取ったり、まとめたりすることに課題がありました。語彙量や読書量の不足が原因と考えられます。語彙の問題では、漢字を読んだり書いたりすることや語句の意味を理解することに課題があります。学校では、基礎学力を高めるための短文の読み取り問題や漢字や語句の使い方の問題に繰り返し取り組み、語彙量を増やしていきます。また、読む力を付け、語彙量を増やすために進んで読書ができるよう指導を行います。

【算数科】

算数科では、活用問題が全学年とも全国平均を上回ることができました。しかし、たし算などの計算問題を正確に行ったり、文章題を正確に読み取り、立式をしたりすることに課題があります。文章題を読む際、問題の内容をイメージしたり、立式したりすることに苦手意識があることが原因と考えられます。

学校では、計算問題などに繰り返し取り組み、基礎学力を高めていきます。また、問題場面を絵や図を用いながらイメージし、立式するなど、自力解決できるような指導方法を工夫していきます。

今後は、基礎学力の向上に加え、引き続き協働的に学び合う場や、考えたことを分かりやすく相手に伝えたり、自信をもって自分の考えを伝えたりする場の設定方法などを研修し実践していきます。また、思考力・表現力の育成に向けて、ICTの効果的な活用を取り入れたりしながら、基礎・基本の徹底を図り、すべての子どもが楽しく安心して学び合うことのできる「分かる・できる」授業を展開させていきます。課題が明らかとなった項目については、今年度中にさらなる指導を行い次年度へつなげます。

本日配付した「個人票」には、国語科・算数科の教科別の正答率(%)と評価、観点別評価のグラフが掲載されています。特に、観点別評価のグラフからは、お子様の得意な領域・課題のある領域が一目でわかります。

よいところは自信をもってさらに伸ばし、課題となっているところは意識して重点的に取り組むなど、今後の家庭学習の参考にして下さい。家庭学習については、進級するにつれて、家庭学習時間だけでなく、内容や質の充実も目指しています。学力は授業と家庭学習の両輪で定着します。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。